

「特別活動」活動案

平成 27 年 7 月 8 日 (水)
対象児童 第 2～6 学年 19 名

(1)テーマ

スーパーボールをつくろう！

(2)活動のねらい

スーパーボールづくりを通して、科学の現象を楽しむ

(3)準備物

PVA 洗濯のり、食塩、割りばし、プラコップ、紙コップ、絵の具、持ち帰り用袋

(4)展開

時間 (30分)	児童の活動	指導者の支援
5分	○スーパーボールづくりに興味をもつ ・スーパーボールはよく跳ねることに気がつく ・作成見本で、どれくらい跳ねるのか見学する	●児童の興味を引くために、どれくらい弾むのか 実演する。児童には着席させる。
5分	○作り方を知る ・指導者の手本をみる ・なぜ、スーパーボールができるのかを知る	●実際の手順を示しながら、作り方を説明する ●注意点を説明する ・スーパーボールは一人一個 ・失敗した児童だけ作り直す ・スーパーボールは口に入れない ・人や物に向かって投げない ・遊んだあとは手を洗う ・家に持ち帰るときはランドセルに入れる ●スーパーボールができる原理を簡潔に紹介す る
15分	○作成 ・洗濯のり(20ml)を着色する→洗濯のりに食塩 (10g)を加える→割りばしでかき混ぜ、かたま りを取り出す→かたまりを球状に丸める→水気 を切る→完成 ・完成品を弾ませてみる	●各班で学生が見守る
5分	○片づけ	●持ち帰り用の袋の配布 ●注意点の再確認

[活動を終えての感想(成果及び課題)]

- ・作成に至るまでに時間が大幅に掛かってしまった(教室移動、道具の配布)
- ・手作りのスーパーボールが、市販品よりも跳ねないため、児童の興味を十分に惹きつけることができなかった
- ・高学年の児童の中にはリーダーシップを発揮できない児童がいる(低学年と一緒に騒ぐ、私語をする)
- ・完成品を楽しむ時間を十分に取り、児童の感想を共有する時間を設けるべきであった
- ・作業にはやや難しい箇所もあったが、学生が各班に一人つくことで適宜補助をすることができた